



【しろがね特別支援学校のセンター的機能】

専門アドバイザーの仕事を紹介します



小学校1年生になると、5時間目まで授業があります。生活科での植物の観察や体育の授業以外は、机上での学習になります。45分間の国語の授業を受けた後、5分の休み時間の後は、45分間の算数の授業になります。前かがみになって机に頬杖をついている児童や背筋が丸まっている児童が1年生の教室の中で多く見られます。しかし、ある保育園から入学したお子さんは、足の裏をしっかりと床につけ、おへそを教師の方に向けて、背筋を伸ばして授業を受けていました。

姿勢が良いお子さんが通っていた保育園はリズム運動に大変力を注いでいます。0歳児はハイハイをしながらトンネルの中を通り、2歳児になると後ろ向きの四つ這いで階段を下りていました。そして、4、5歳児になると、歌いながらスキップをしたり、スキップをしながら手拍子をしたりするなど、2つの行動を同時にするなどレベルが高く、大人の私が見ても感心するような動きをします。どうして、こんなに上手なのかと考えたら、子どもたちはとても楽しく動いているからだと思いました。一緒にリズム運動をしている先生たちは腕を伸ばすときは指先まで伸ばし、ジャンプするときには高く足をあげます。先生方の素晴らしい動きが子どもたちのモデルとなり、動きの美しさを皆が求めているのが分かりました。リズム運動の内容自体も、毎回少しずつ新しい動きが取り入れられ、楽しみながら様々な動きを身につけてほしいと願う先生方の工夫が見て取れました。

姿勢が良いと酸素が体に取り入れやすく、集中力が増すと言われています。体幹を鍛えることは大切だと思いつつも、楽しく学んでいるときに学習効果が高まるのだということを実感しました。教師として、とても考えさせられる保育園でのリズム運動でした。

校内研修等での講演会の予定

6月11日	高校入試に関するケース会議	渋川市内中学校
6月17日	「自閉症スペクトラム児の指導について」	前橋市内小学校
6月24日	「通常学級に在籍する気になる子への 指導・支援について」	渋川市内小学校
7月22日	「特別な支援を必要とする児童がいる通常 学級での指導・支援」	前橋市内小学校
9月 3日	「行動につまづきのある子と一緒のクラス 経営」	前橋市保育士会
11月21日	60分ケース会議	渋川市内小学校
1月20日	60分ケース会議	渋川市内小学校

相談依頼の件数（外部支援）4～9月の結果

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	158件	102件	13件	3件	3件	279件

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について
悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校
担 当：専門アドバイザー 尾岸 純子
電 話：027-268-6111
FAX：027-268-6113
メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp